

平成 28 年度
さいたま市文化財保護審議会
— 第 2 回 —

日 時 平成 29 年 1 月 23 日(月) 午後 3 時 30 分～

会 場 中央図書館 イベントルーム

さいたま市教育委員会

さいたま市文化財保護審議会次第

1	開	会	
2	挨	拶	
3	議事録について		
	(1)	前回議事録報告	
	(2)	今回議事録署名委員選出	
4	議		事
	(1)	審議事項	
	ア	平成 28 年度指定候補文化財について	
		第 1 号「観音寺木造聖観音菩薩立像」の指定について……………	2
		第 2 号「東泉寺木造虚空蔵菩薩坐像」の指定について……………	4
		第 3 号「砂氷川社のシラカシ」の指定について……………	5
	(2)	報告事項	
		第 1 号 平成 28 年度文化財保護及び保存事業の概要について……………	6
		第 2 号 平成 28 年度指定文化財にかかわる申請届出受理……………	14
		第 3 号 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」管理業務実施報告 ……	16
5	その他報告事項		
	(1)	国登録有形文化財の登録について……………	17
	(2)	文化財の指定及び解除について……………	20
6	その他		
7	閉		会
	*	さいたま市文化財保護審議会 平成 28 年度第 1 回会議 議事録 ……	22

4 議 事

(1) 審議事項

ア 平成 28 年度指定候補文化財について

第1号「観音寺木造聖観音菩薩立像」の指定について

さいたま市文化財保護審議会委員 内藤 勝雄
さいたま市文化財保護審議会委員 西口 由子
さいたま市文化財保護審議会委員 西山 多壽子

- 1 名 称 観音寺 木造聖観音菩薩立像
(かんのんじ もくぞう しょうかんのんぼさつ りゅうぞう)
- 2 員 数 1 躯
- 3 所在の場所 さいたま市桜区大字宿 147 番
- 4 所有者の氏名又は名称及び住所
宗教法人 観音寺
さいたま市桜区大字宿 147 番
- 5 種別 (種類) 有形文化財 (彫刻)
- 6 形状及び品質 右手は屈臂して胸前で未開敷蓮華を持ち、左手は自然に垂下して腰下で掌を正面に向け、腰をやや右に捻って立つ聖観音菩薩像。宝髻は毛筋彫。地髪は毛筋を疎らに彫るが、後頭部は省略している。髪束一条が耳に掛かる。耳朶は環状。白毫相を表す。三道を刻む。鼻孔を穿つ。条帛、天衣、裙を着ける。金属製の宝冠及び胸飾を着ける。台座は現状では蓮台、敷茄子、岩座となっている。
寄木造。玉眼。漆箔。頭部は耳後で前後二材を寄せ、さらに顔面部に別材を寄せた三材とし、玉眼を嵌入する。体幹部は前後に割り短い内刳を施す。頭部と体部の接続は不明。両肩から先、さらに両臂から先に各々別材を寄せる。両足先は各々別材。両足柄は別材。
宝髻、両臂から先、左足先、持物、表面の漆箔は後補。天衣の垂下部を欠失。宝冠及び胸飾は後補。光背及び台座は後補。
- 7 寸 法 像高 55.6 髪際高 48.4 頭頂～顎 13.4 髪際～顎 5.5
面張 5.7
面奥 7.5 耳張 7.2 肩張 13.8 臂張 17.0 胸奥 8.0
腹奥 8.8
裾奥 7.2 裾張 13.2 足先開 (外) 10.6

(単位は cm)
- 8 作 者 不明

9 製作の年代又は時代 室町時代

10 画賛、奥書、銘文等 なし

11 伝来その他参考となる事項

観音寺は、海潮山梵音院と号する浄土宗の寺院で、境内にある観音堂（江戸後期／市指定文化財）が寺号の由来と思われる。観音堂の本尊であるこの聖観音菩薩立像は、新秩父観音霊場第 25 番札所の本尊となっている。

12 所 見 鎌倉時代の様式を持ちつつも、衣文線の処理などに一部破綻が見られ、形式化が進んでおり、室町時代の作と推測される。しかし、後補部分はあるものの、頭・体の主要部は造像当初の形を残しており、貴重なものである。指定して保存を図るべきである。



第2号「東泉寺木造虚空蔵菩薩坐像」の指定について

さいたま市文化財保護審議会委員 内藤 勝雄
さいたま市文化財保護審議会委員 西口 由子
さいたま市文化財保護審議会委員 西山 多壽子

名 称 東泉寺木造虚空蔵菩薩坐像 1 躯
種 別 有形文化財（彫刻）
所在地 浦和区瀬ヶ崎 2-15-3
所有者 宗教法人 東泉寺

ヒノキ材一木造、彫眼、素地に截金・金泥彩を施す。像高 23.7cm、膝張り 16.5 cm。頭体部一材。内剝なし。裳先を含む膝前材を寄せる。左手袖先上半部が別材。両手首先も別材。宝冠部分は別材。宝珠別材。頭飾、冠繪、胸飾は鍍金銅板製。截金は着衣の衣文稜線部並びに覆肩衣縁・袖口部、袈裟縁・条葉部、高髻を結び、天冠台を付け、八面宝冠を頭に戴く。三道相。裾・覆肩衣・袈裟を着ける。右肩を深く覆肩衣で被い、袈裟は左肩から右肩に浅くかかり右腋下をまわって右脇腹で覆肩衣を挟んで再び左肩にかかる。左手屈臂し、掌を上にして第3・4指をやや上へ曲げ、宝珠を持つ。右手屈臂し、右膝の上に掌を上にして五指を伸べて置く。

本像は素地に截金を施したもので、これまでに市内の指定例はない。截金の全容が判る例ではあるが、像自体は近世の作と考えられるもので、悉皆調査などが行われていない現状を考えると、今後さらに時代の古い截金を施した例が発見される可能性もあり、今回指定を見送る。



第3号「砂氷川社のシラカシ」の指定について

さいたま市文化財保護審議会委員 小茂田 美保

さいたま市文化財保護審議会委員 細田 浩

名 称 砂氷川社のシラカシ 1本

種 別 天然記念物

所在地 見沼区東大宮 7-36-11

所有者 宗教法人 氷川社

樹高 23.5m、目通り 3.7m、根回り 11.1mであり、樹齢・風格ともに優れ、保存樹としての価値は十分に存しているものの、数年前に比較して、太枝の枯れ、幹内部の枯れ、腐朽菌の着生などの問題点が急激に進行しており、今後の健全な生育、保存にはかなり難点が多い。

仮に文化財として指定した場合、太枝の養生や、幹・枝の管理、枯死の防備、参詣客の制限等が必要となり、「指定文化財」で管理することはかなり厳しい状況である。ここ数年の経緯から倒壊や危惧される災害対策の問題が存在し、また、枯死の恐れもあることから、天然記念物として指定はしない。



▲東から望む



▲南から望む

(2) 報告事項

第1号 平成28年度文化財保護及び保存事業の概要について

1 文化財保護審議会

会議

- 第1回「平成28年度文化財指定諮問」他 平成28年5月17日
- 第2回「平成28年度文化財指定審議」他 平成29年1月23日

2 文化財の調査

(1) 指定候補調査

- ア 観音寺木造聖観音菩薩立像 平成28年8月19日
- イ 東泉寺木造虚空蔵菩薩坐像 平成28年8月19日
- ウ 砂氷川社のシラカシ 平成28年6月24日

(2) 登録候補調査

- ア 加藤家住宅 平成28年10月13日・27日
- イ 内木酒造 平成28年10月27日

(3) 指定文化財の調査

ア 国指定文化財現況調査

(ア) 重要無形民俗文化財

a 「岩槻の古式土俵入り」

- ・ 笹久保の古式子ども土俵入り 平成28年9月18日
- ・ 釣上の子ども相撲土俵入り 平成28年10月16日

(イ) 天然記念物

イ 市指定文化財現況調査

(ア) 建造物

a 「大門宿脇本陣」

平成28年4月26日、5月11日、6月30日、8月4日、8月9日、10月31日、11月22日

b 「永田家長屋門」

平成28年8月1日、8月5日、8月17日、9月6日

c 「中山神社旧社殿」

平成28年11月8日

(イ) 彫刻

a 「薬王寺円空作仏像群」

平成28年8月12日、12月3日

(ウ) 工芸品

a 「浦和仲町の神酒杵」

平成28年7月24日

(エ) 考古資料

a 「長福寺板石塔婆群」

平成28年5月18日

b 「法願寺板石塔婆群」

平成28年5月18日、7月1日

- (オ) 無形文化財
- a 「木遣歌」 平成 28 年 7 月 24 日、11 月 27 日、平成 29 年 1 月 8 日
- (カ) 有形民俗文化財
- a 「仲町獅子王祭獅子頭」 平成 28 年 7 月 24 日
- (キ) 無形民俗文化財
- a 「南部領辻の獅子舞」 平成 28 年 5 月 15 日、10 月 16 日
- b 「見沼通船舟歌」 平成 28 年 6 月 8 日
- c 「宿の祭ばやし」 平成 28 年 7 月 9 日・24 日
- d 「神田の祭りばやし」 平成 28 年 7 月 9 日・24 日、11 月 27 日
- e 「田島の獅子舞」 平成 28 年 7 月 9 日、10 月 2 日
- f 「秋葉ささら獅子舞」 平成 28 年 7 月 16 日
- g 「駒形の祭ばやし」 平成 28 年 7 月 17 日・24 日
- h 「鹿手袋の祭ばやし」 平成 28 年 7 月 17 日・24 日
- i 「砂の万灯」 平成 28 年 7 月 17 日、11 月 27 日
- j 「氷川女體神社の名越祓え」 平成 28 年 7 月 31 日
- k 「深作ささら獅子舞」 平成 28 年 8 月 21 日
- l 「円阿弥の万作踊り」 平成 28 年 9 月 17 日
- m 「大久保領家の民謡と踊」 平成 28 年 11 月 20 日・21 日
- n 「一山神社冬至祭」 平成 28 年 12 月 21 日
- o 「指扇の餅搗き踊り」 平成 29 年 1 月 1 日
- p 「日進餅つき踊り」 平成 29 年 1 月 1 日
- (ク) 史跡
- a 「池上家富士浅間塚及び関連資料」(樹木) 平成 28 年 4 月 5 日
- b 「児玉南柯の墓」 平成 28 年 9 月 15 日・19 日・27 日・29 日、10 月 5 日
- (ケ) 天然記念物
- a 「氷川参道の並木」(W262) 平成 28 年 4 月 5 日
- b 「シラカシ」 平成 28 年 4 月 5 日
- c 「御嶽神社のイヌマキ」 平成 28 年 4 月 27 日
- d 「氷川参道の並木」(W190) 平成 28 年 4 月 27 日、8 月 30 日
- e 「御蔵のクマガイソウ」 平成 28 年 5 月 20 日、8 月 2 日・25 日
- f 「見沼通船堀」樹木調査 平成 28 年 6 月 10 日
- g 「宮原小学校のセンダン」 平成 28 年 6 月 27 日、7 月 15 日、9 月 30 日
- h 「太田窪のカヤ」 平成 28 年 7 月 12 日
- i 「日進のハナノキ」 平成 28 年 7 月 22 日、9 月 26 日、10 月 21 日
- j 「ユーカーリ樹」 平成 28 年 8 月 5 日・30 日

- k 「植田谷本のクスノキ」 平成 28 年 8 月 30 日
- l 「山崎の大ケヤキ」 平成 28 年 9 月 2 日、10 月 21 日
- m 「圓藏院の大イチョウ」 平成 28 年 9 月 2 日
- n 「上小町氷川神社のモッコク」 平成 28 年 10 月 5 日
- o 「普門院のキャラ」 平成 28 年 10 月 5 日・21 日
- p 「普門院のタラヨウ」 平成 28 年 10 月 5 日・21 日、11 月 14 日
- q 「普門院のチリメンカエデ」 平成 28 年 10 月 5 日・21 日
- r 「大久保神社社叢」 平成 28 年 11 月 14 日

ウ 天然記念物現況調査

(ア)北区・大宮区・見沼区・緑区・南区の 20 箇所 25 件の現況調査を実施

指定	指定名称	所在地	所有者	調査日	結果
1	市 満福寺のシラカシ	北区	宗教法人 満福寺	6月14日	× 指定解除を検討
				6月24日	× 指定解除を検討
2	市 金剛院のタブノキ	北区	宗教法人 金剛院	6月14日	○
	市 金剛院のカヤ				○
	市 金剛院のシイノキ				○
3	市 清浄院のサルスベリ		宗教法人 清浄院		○
4	市 宮原小学校のセンダン		さいたま市		× 倒木阻止への対応を指示
5	市 氷川参道の並木	大宮区	宗教法人 氷川神社	6月27日	× 一部の木について土壌改良等の措置を指示
6	市 蓮沼のムクロジ	見沼区	個人	6月14日	○
7	市 十王尊の大イチョウ		宗教法人 正法院	6月17日	○
8	市 アケビ	緑区	個人	6月10日	× 指定解除を検討
	市 コルクガシ				○
9	市 氷川女體神社社叢		宗教法人 氷川女體神社		○
10	市 小室社のタブノキ				○
11	市 辻のムクロジ		個人	6月13日	△ キノコ生育中
12	市 山崎の大ケヤキ				○
13	市 山崎のボダイジュ		観音堂		○
14	市 辻のムクノキ		個人		× 根系上の防草シート撤去指導
15	市 大興寺のヒイラギ		宗教法人 大興寺	6月10日	△
	市 大興寺のウメ	○			
	市 大興寺のヒヨクヒバ	× 指定解除を検討			
16	市 行弘寺のツバキ	南区	宗教法人 行弘寺		○
17	市 睦神社社叢		宗教法人 睦神社	6月17日	○
18	市 大谷場氷川神社のユリノキ		宗教法人 氷川神社		○
19	市 真福寺のイチョウ		宗教法人 真福寺		○
20	市 沼影観音堂のイヌマキ		観栄会	6月24日	△

○:概ね良好(経過観察) △:要観察 ×:要処置

(4) 一般調査

- ア 指扇領別所・八幡神社本殿 平成 28 年 5 月 29 日
- イ 近代和風建築調査 (第 3 次) 平成 28 年 6 月 1 日～7 月 30 日
- ウ 池上家富士浅間塚初山行事 平成 28 年 7 月 1 日
- エ 天王様の夏祭り (見沼区染谷・八幡神社) 平成 28 年 7 月 16 日
- オ 大宮氷川神社例大祭関係行事 平成 28 年 8 月 1 日・2 日
- カ 加藤家住宅 家守札 平成 28 年 9 月 29 日～
- キ 調神社大山講奉納木太刀 平成 28 年 9 月 30 日・10 月 12 日
- ク 萩原家住宅 平成 28 年 10 月 12 日
- ケ 石橋供養塔 平成 28 年 10 月 23 日～11 月 27 日
- コ 中山神社鎮火祭 平成 28 年 12 月 8 日

サ 武笠家文書（追加調査）

平成 28 年 12 月 15 日

シ 柳剛流奉納額

平成 28 年 12 月 22 日～25 日

3 文化財保存事業（補助金交付事業）

(1) 国指定

ア 重要無形民俗文化財「岩槻の古式土俵入り」後継者育成・公開
／笹久保の古式子ども土俵入り保存会

(2) 県指定

ア 有形文化財（彫刻）「木造大日如来像」収蔵庫空調設備改修修繕
イ 有形文化財（典籍）「紙本墨書大般若波羅蜜多経」裏打ち修理

(3) 市指定

ア 有形文化財（建造物）「観音寺観音堂」建具修理
イ 無形文化財「木遣歌」後継者育成・公開
ウ 無形民俗文化財「田島の獅子舞」後継者育成・公開
エ 無形民俗文化財「南部領辻の獅子舞」後継者育成・公開
オ 無形民俗文化財「宿の祭ばやし」後継者育成・公開
カ 無形民俗文化財「砂の万灯」（大上組）後継者育成・公開
キ 無形民俗文化財「駒形の祭ばやし」後継者育成・公開
ク 無形民俗文化財「指扇の餅搗き踊り」後継者育成・公開
ケ 史跡「内谷氷川社境内」池修繕
コ 天然記念物「氷川参道の並木」養生
サ 天然記念物「植田谷本のクスノキ」枝剪定処理
シ 天然記念物「上小町氷川神社のモッコク」枝剪定処理

4 指定文化財の普及啓発

(1) 刊行物

ア 文化財時報「榎りぼーと」（第 61 号～第 64 号）
イ 文化財保護年報 No. 16（平成 27 年度）
ウ 「田島ヶ原サクラソウ自生地 観察のてびき」パンフレット

(2) web 配信

ア さくらそう通信（29 号）

(3) 啓発事業

ア 見沼通船堀閘門現地説明会
平成 28 年 11 月 12 日 10 時～・11 時～・13 時～・14 時～
会場／見沼通船堀東縁 参加：42 名
イ 鈴木家住宅附属建物の公開 通年（毎週土・日曜日）
ウ サクラソウ Weeks2016
平成 28 年 3 月 25 日から 4 月 24 日
会場／田島ヶ原サクラソウ自生地、桜区役所

エ 与野文化財資料室の公開 通年

5 指定史跡等の保存管理

- (1) 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」
- ア 株数調査 平成28年4月12日～21日
 - イ 外来植物等の除去 平成28年4月11日～10月7日
 - ウ 田島ヶ原サクラソウ自生地連絡会 平成28年11月21日
 - エ 草焼きに係る放射線量測定調査 平成28年12月20日(第1回)
平成29年1月19日(第2回)
 - オ 草焼き 平成29年1月18日
- (2) 国指定史跡「見沼通船堀」
- ア 清掃業務、鈴木家住宅防災設備保守点検 通年
 - イ 鈴木家住宅附属建物公開に伴う管理、東縁休憩施設維持管理 通年
 - ウ 休憩施設トイレ便器交換修繕 平成28年6月6日～6月30日
 - エ 修繕(舗装) 平成28年4月26日～7月29日
 - オ 見沼通船堀(西縁)一の関修繕 平成28年11月21日～29年1月31日
 - カ 東縁再整備工事 平成28年9月7日～29年11月30日
 - キ 西縁地質調査 平成28年10月3日～29年2月28日
- (3) 国指定史跡「真福寺貝塚」
- ア 通常管理 草刈 平成28年4月25日～平成29年3月10日
 - イ 発掘調査 平成28年10月3日～12月21日
 - ウ その他の調査(泥炭層古環境、地下水位、過去の発掘調査の記録調査等)
- (4) 県指定史跡「馬場小室山遺跡」
- ア 通常管理 草刈・樹木剪定等 平成28年4月25日～平成29年3月10日

6 指定文化財等の管理

- (1) 市管理史跡等の巡検
- ア 巡検対象(16箇所)
 - (ア) 国指定史跡「見沼通船堀」、「真福寺貝塚」
 - (イ) 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」
 - (ウ) 県指定史跡「馬場小室山遺跡」
 - (エ) 市指定有形文化財「岩槻城城門(黒門)」、「岩槻城裏門」、「時の鐘」
 - (オ) 市指定有形民俗文化財「庚申塔」
 - (カ) 市指定史跡「側ヶ谷戸古墳群」(稲荷塚古墳、台耕地稲荷塚古墳、茶臼塚古墳)、「大戸貝塚」、「藤橋の六部堂」
 - (キ) その他 「錦乃原桜草園」、「斎藤治水翁碑」、「五味貝戸貝塚」
- (2) 市指定有形文化財「時の鐘」鐘楼用地
- ア 通常管理 草刈・樹木剪定 平成28年4月25日～平成29年3月10日
- (3) 市指定史跡「側ヶ谷戸古墳群」

7 「見沼通船堀再整備事業」進捗状況

(1) 見沼通船堀再整備事業と見沼通船堀の現況

国指定史跡「見沼通船堀」では、現在、雨水等の浸食により堤塘部分での崩落が頻発して発生したり、最も重要な要素である木製の「閘門」が腐朽するなど、史跡の随所で劣化が生じている。そのため、閘門開閉実演の実施も困難になってきている。また、来訪者増加に伴う安全対策、便益施設の不足、周辺の宅地化による雑排水処理、堤塘に植生する樹木の高木化等諸問題に対し、検討・対策が必要になっている。

これらに対応するため、平成 27 年度から文化庁の国庫補助事業「歴史生き生き史跡等総合活用整備事業」を活用し、本格的な再整備事業を開始したところである。

(2) 今年度の再整備事業の進捗について

見沼通船堀東縁（以下「見沼通船堀」を省略）の再整備工事を開始した。東縁の再整備工事は平成 30 年度までの継続事業である。また、西縁の測量・地質調査を実施した。

史跡再整備のための検討研究会を 1 回開催し、文化財保護審議会委員、所有者である見沼代用水土地改良区、埼玉県他各関係機関等からの意見を聴取し、西縁再整備工事に係る基本方針について議論した。平成 28 年度内に更に 1 回開催し、見沼通船堀全体のサイン計画について有識者・関係者からの意見聴取を行う。

(3) 来年度以降の計画について

当初は、東縁再整備工事は平成 30 年度までに完了し、西縁の実実施設計を平成 29 年度に行い、平成 30 年度から西縁の再整備工事着手、平成 32 年度完了と計画していた。

しかし、財政状況等を勘案し、東縁については閘門の復元、法面の修復を当初の予定通り平成 29 年度までに着実に終了することとするものの、園路整備は平成 30 年度以降に行う。

西縁の実実施設計は 1 年度遅れて平成 30 年度に着手することとし、平成 32 年度の全体の完了を目指す。

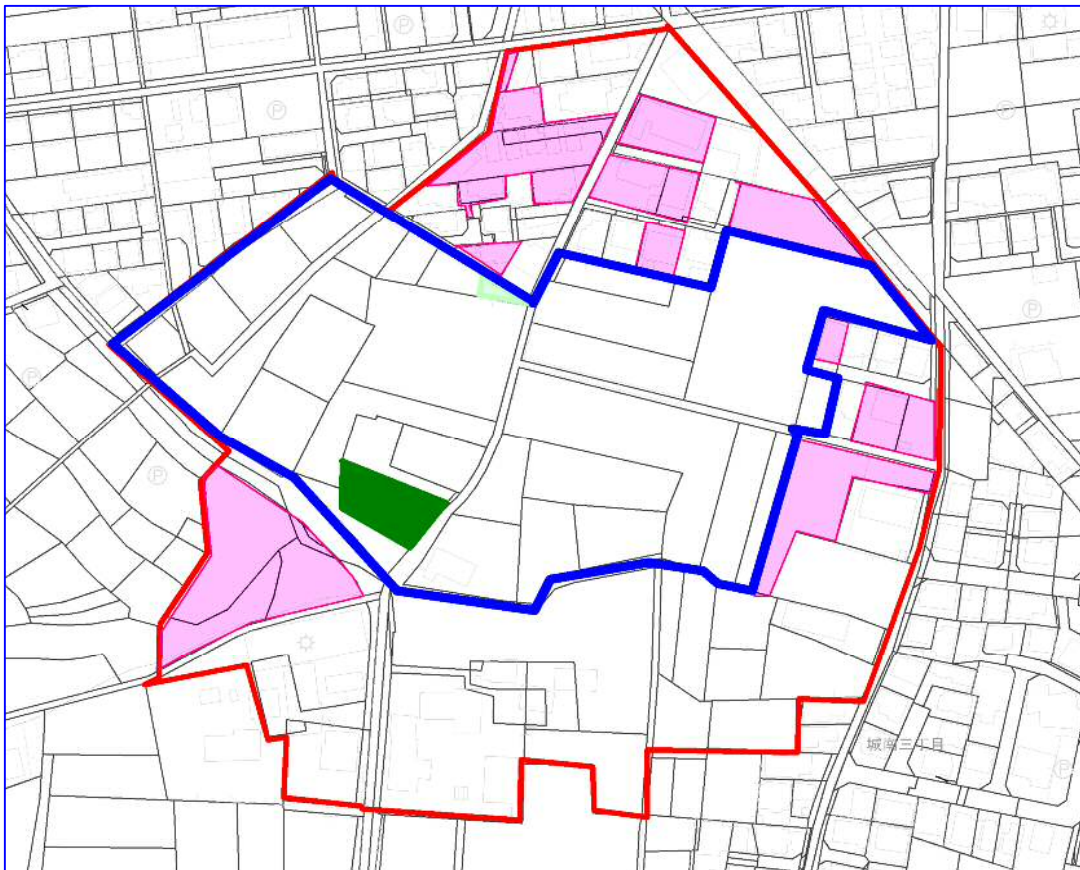
再整備の工事年次計画(変更後)



事業年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
東縁休憩施設改修	●					
東縁閘門復元		●	●			
東縁堤塘整備		●	●			
東縁園路整備				●		
東縁案内板等整備					●	
西縁実設計				●		
西縁再整備工事					●	●



工事の様子（東縁）

8 「真福寺貝塚追加指定・公有地化事業」進捗状況



-  追加指定地
-  平成 28 年度公有地化

9 埋蔵文化財の調査及び保存

- (1) 開発事業との調整、確認調査等の実施（平成 28 年 12 月 31 日現在）
 - ア 窓口照会件数 2,522 件
 - イ 発掘届出・通知件数 640 件
 - ウ 確認調査等件数 439 件
- (2) 文化財保護法第 93 条に基づく掲示通知件数 559 件
- (3) 埋蔵文化財発掘調査の実施（国庫補助事業） 4 件
- (4) さいたま市遺跡調査会による発掘調査の指導 12 件
- (5) 出土品の保存処理・分析
 - ア 馬場小室山遺跡出土土器 1 件
- (6) 出土品遺物再整理・再収納（国庫補助事業）

10 埋蔵文化財の普及啓発

- (1) 土器の館の公開
- (2) 与野文化財資料室の公開
- (3) 最新出土品展の開催

ア 展示内容：市内での最新の発掘調査成果について展示

点数：出土品 126 点及び写真パネルの展示

イ 会場

会場	期間	入場者数
市立博物館／大宮区	9月6日(火)～9月19日(月) 13日間	854人
岩槻区役所／岩槻区	10月3日(月)～10月18日(火) 11日間	100人
コクーンシティ コクーン2／大宮区	11月8日(火)～11月22日(火) 15日間	7,619人
浦和区役所／浦和区	12月1日(木)～12月8日(木) 6日間	37人
計	45日間	8,610人

- (4) 市内遺跡発掘調査成果発表会

平成28年9月10日

会場／さいたま市立博物館 入場者数：70人

- (5) 真福寺貝塚発掘調査現地見学会

ア 一般市民対象

平成28年11月5日(土) 午前10時～、午後2時～

会場／真福寺貝塚 参加者数：161人

イ 県立岩槻高校生徒

平成28年11月16日(水)・17日(木) 計5回

会場／真福寺貝塚 参加者数：240人

- (6) 資料の貸出・調査

ア [貸出]松木遺跡出土旧石器資料(岩宿博物館)など9施設

イ [調査受入]南遺跡出土土器レプリカ法調査など11件

- (7) 発掘調査報告書の刊行

ア さいたま市内遺跡発掘調査報告書第16集

イ さいたま市埋蔵文化財調査報告書第12集

第2号 平成28年度指定文化財にかかわる申請届出受理

1 所有者変更届

(1) 県指定

ア 有形文化財（古文書）「栗橋関所日記及び関係資料」

(2) 市指定

ア 有形文化財（建造物）「深井家長屋門」

イ 有形文化財（古文書）「深井家文書」

ウ 有形文化財（古文書）「寛文五年二月武蔵国足立郡五関村水帳外十五冊」

2 き損届

(1) 県指定

ア 史跡「岩槻藩遷喬館」

3 修理届

(1) 県指定

ア 史跡「岩槻藩遷喬館」

4 所在場所変更届

(1) 県指定

ア 有形文化財（古文書）金子家文書

(2) 市指定

ア 有形文化財（考古資料）法願寺板石塔婆群

5 現状変更許可申請

(1) 国指定

ア 史跡「見沼通船堀」史跡整備

イ 史跡「見沼通船堀」西縁試料採取及び工作物設置

ウ 史跡「真福寺貝塚」発掘調査

エ 史跡「真福寺貝塚」小規模建物の設置及び除去

オ 史跡「真福寺貝塚」試料採取及び工作物設置

カ 史跡「真福寺貝塚」木の伐採

(2) 県指定

ア 史跡「岩槻城跡」確認調査

イ 史跡「岩槻城跡」トイレ設置

(3) 市指定

ア 有形文化財（考古資料）「馬場小室山遺跡第51号土壙出土縄文土器」保存処理

イ 史跡「池上家富士浅間塚及び関連資料」樹木伐採

ウ 史跡「内谷氷川社境内」崩壊防止

エ 天然記念物「宮原小学校のセンダン」腐食幹伐採・危険回避措置

オ 天然記念物「南中丸のアカガシ」枝剪定

6 公開届

(1)県指定

指定名称	公開場所	公開期間
平岩文書・不動院文書	春日部市郷土資料館	平成 28 年 7 月 20 日～9 月 4 日
平岩文書	壬生町立歴史民俗資料館	平成 29 年 2 月 4 日～2 月 23 日

(2)市指定

指定名称	公開場所	公開期間
側ヶ谷戸古墳群 11 号古墳出土埴輪	戸田市立図書館・郷土博物館	平成 28 年 7 月 16 日～8 月 28 日
西角井家所蔵文書	春日部市郷土資料館	平成 28 年 7 月 20 日～9 月 4 日
勝田家文書		
北宿西遺跡出土旧石器資料	岩宿博物館	平成 28 年 10 月 1 日～11 月 23 日
慈恩寺文書	埼玉県立歴史と民俗の博物館	平成 28 年 10 月 15 日～11 月 27 日
会田家文書・武笠家文書	浦和博物館	平成 28 年 10 月 22 日～12 月 4 日
定（火付・火事場取り締まりの高札）	埼玉県立歴史と民俗の博物館	平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日
定（きりしたん制禁の高札）		
慈恩寺文書	埼玉県立歴史と民俗の博物館	平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 11 月 30 日

第3号 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」管理業務実施報告

1 サクラソウの生育状況調査

- (1) 実施時期 開花期を中心とした時期（4月）
- (2) 内 容 サクラソウの生育株数、開花株数の把握
- (3) 成 果

周辺環境の変化の把握や自生地管理の参考とした。1965年を100とした場合の2016年の指数は79.2、開花株数はそのうちの18.0%。前年比は指数-3.7、開花株数-4.7%となった。

2 自生地の植生管理

- (1) 外来植物、幼木等の除去
ア 実施時期 平成28年4月から10月
イ 内 容 指定当時に近い植生を維持するため、自生地及び自生地周辺の外来植物、幼木等の除去を行った。
- (2) 繁殖力旺盛な在来植物の間引き
ア 実施時期 平成28年5月から10月
イ 内 容 特に繁茂が著しく、自生地の植生に影響を及ぼす恐れのある在来植物について、自生地及び自生地周辺で間引きを行った。
- (3) 希少種の保護
ア 実施時期 平成28年4月から10月
イ 内 容 希少種周辺の競争植物の除去等を行った。
- (4) 火入れ
ア 実施日 平成29年1月18日
イ 内 容 火入れによって冬枯れした植物を除去し、遷移を停滞させた。

3 補完地の管理

- (1) 外来植物の除去
ア 実施時期 平成28年4月から10月
イ 内 容 補完地及び補完地周辺の外来植物の除去を行った。
- (2) サクラソウの移植
ア 実施日 平成28年9月26日
イ 内 容 自生地から採種し、育苗したサクラソウ408株を補完地へ試験的に移植した。
- (3) 刈払い
ア 実施時期 平成29年1月
イ 内 容 冬枯れした植物の刈払いを行い、遷移を停滞させた。